

平成 22 年度活動報告～ため池オアシス運動～

■取り組み趣旨■

地域において都市化・混住化の進展や高齢化による担い手不足より、農業用水路へのゴミ投棄などによる水質汚染等の様々な問題が農村環境を悪化させ、農業用水や土地改良施設の管理に支障が生じています。

そこで、地域住民が果たしてきた役割、農村農業の多面的機能をさらに発揮するため、ため池や用排水路など土地改良施設の機能保全と自然環境の保全を行い、自治体・各種団体と連携して取り組むことで、将来の農業・農村を守り、美しく豊かなふるさとづくりに取り組みました。

日時	平成22年10月 3日（土）午前8時30分から正午
場所	狩又池（加西市琵琶甲町）
内容	<p>1. 農業用水の水質浄化（水質保全・機能保全） ため池底のヘドロの拡散による水質浄化と、ため池（土地改良施設）の機能保全を目的にした池干し及び雑魚獲り（外来魚の駆除）を行いました。</p> <p>2. 自然環境総合学習 有識者によるため池の現状についての講演及び糶屋ダムの概要などのパネル展示、ため池についての紙芝居を行いました。</p> <p>3. 自然環境保全 ため池の景観保全・美化を図るため、ため池周辺のクリーンキャンペーンや除草作業を行いました。</p>
参加規模	地元自治体他100名
組織	加西市琵琶甲町 水土里ネット加古川西部 糶屋ダム管理所・兵庫県・水土里ネット兵庫・加西市・講師（加西ナチュラリストクラブ）

■活動状況写真■

★ため池オアシス運動（加西市琵琶甲町 狩又池）★



受付をする参加者



琵琶甲町区長さんの開会挨拶



講師 尾内先生（加西ナチュラリストクラブ）によるため池の動植物についての講演



講演に聞き入る参加者



参加者によるため池周辺のクリーンキャンペーン



たくさんのゴミを集め、ため池が美くなりました



加古川流域土地改良事務所職員による「ため池について」の紙芝居、クイズ



新屋ダム管理所職員によるダムの概要などのパネル展示



雑魚取りを通じてふれあう親子、参加者たち



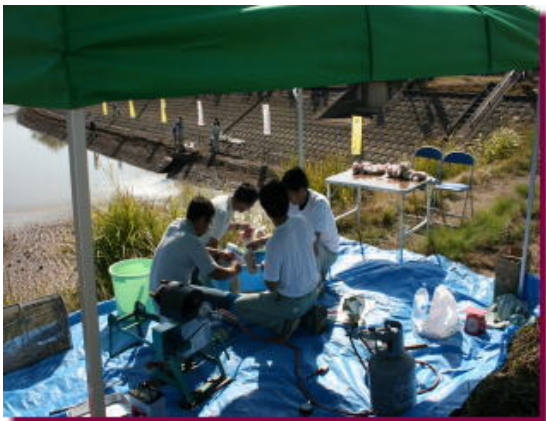
綺麗な色鯉が取れました



外来魚（ブラックバスやブルーギル）の駆除を行いました



大物を捕獲した上位入賞者に区長さんより商品が送られました



加西市農政課の職員による地元のお米を使ったポン菓子のお土産が配られました



参加者全員による記念撮影